



サッカー少年団30周年 飛躍を誓い祝賀会開催

葛巻サッカースポーツ少年団（笹川昭文監督・団員22人）の結成30周年記念祝賀会は11月16日、グリーンテージで行われ、歴代の指導者や父母会役員、県北チームの代表者など91人が参加し、さらなる飛躍を誓いました。

同少年団は昭和57年に結成され、平成16～17年には県ベスト8を果たしています。これまでに在籍した団員は延べ883人。町長杯少年サッカー大会を開催するなど、サッカーの競技力向上と青少年の健全育成に貢献しています。

笹川監督は「30周年を契機にさらに葛巻の少年サッカーを盛り上げていきたい」と決意を新たにしました。

全員で肩を組み、試合前に行うかけ声を元気よく披露するサッカー少年団の皆さん



火災を想定し実践訓練 現場での対応を再確認

秋の全国火災予防運動に伴い町消防団（長岡宏団長）は11月10日、星野地区で火災防御訓練を実施しました。

この日の訓練は、地域密着型特別養護老人ホームすみれ荘から出火、延焼拡大の様相という災害想定で行われ、町消防団の現場指揮本部の指示により、第3中隊（第6・7・8・10・17・18分団）と葛巻分署が出動。各出動隊の連携により星野川からの自然水利を利用した放水などの訓練を行いました。

閉会式で高橋分署長は「日頃から車載無線とトランシーバーを活用し速やかな情報伝達を心がけてほしい」と各出動隊に呼びかけました。

機敏な動作で建物への放水訓練を行う第3中隊の団員ら

自治会長らが視察研修 西和賀の町づくり学ぶ

町自治会連合会（森信夫会長・会員34人）と協働のまちづくり推進協議会（鷲塚勝治会長・委員9人）の合同視察研修は11月19日、西和賀町役場で行われ、自治会長ら22人が参加しました。

西和賀町の町づくりや空き家廃止条例、高齢者の見守りと買い物支援、病院建設の取り組みについて、それぞれ町の担当職員から詳細な説明を受け、参加者はメモを取りながら熱心に聞き入っていました。

町自治会連合会の森会長は「参考になる取り組みが多く、今後の地域づくりに役立てたい」と言葉に力を込めました。



西和賀町役場で説明を受ける参加者の皆さん

20回記念を盛大に開催 きき酒ききワイン大会

第20回記念グリーンテージ杯きき酒・ききワイン大会は11月15日に行われ、職場や地域、同級生など5人一組、23チームが参加しました。20回記念の今大会は第20位に5万円相当の布団が用意されるなど賞品も例年より豪華に。参加者は豪華賞品を目指して真剣勝負をしました。

この大会は、県内の日本酒とくずまきワインの赤、それぞれ5種類を5分間で当てるもの。参加者は色や香り、味などを何回も確認しながら飲み比べていました。

【結果】優勝・三十路ボンパイエ（24点）、第2位・のんでのんでの葛巻自工B（22点）、第3位・星野熟年隊（20点）



色や香り、味などを確認しながら、真剣にききワインに挑戦する参加者



マジックには子どもも参加。子どもからお年寄りまで来場者みんなが大笑いした城下子寄席

満員御礼の城下子寄席 3自治会の連携で開催

城下子（ジョーカーズ）寄席が11月23日、総合センターで開催され、落語ファンなど170人が詰め掛けました。この寄席は、城内小路、下町、田子の自治会が連携し、3地区の事業所からの協賛金や町の協働のまちづくり補助金を活用し行われ、今年で6回目の開催となります。

真打の桂小文治師匠や桂枝太郎師匠など4人の落語のほか、来場した子どもが参加してのマジックも行われ、会場は笑いの渦に包まれました。

下町自治会の服部正仁会長は「楽しみにしている人も多く、今後も継続開催していきたい」と意気込んでいました。



運転席やバケットに乗ったりして乗車体験を楽しむ園児ら

除雪機械の出動式開催 町内の園児が乗車体験

除雪機械出動式は11月7日、役場裏車庫前で行われ、運転手ら約20人が出席しました。鈴木重男町長は「安全確保に細心の注意を払い、町民の福祉向上のため尽力していただきたい」と訓示。鈴木町長から運転手へ鍵が引き渡され、除雪機械のエンジン始動点検などを行い除雪機械に異常がない事を確認しました。

町内の園児ら約100人も訪れ、「風邪をひかないように頑張ってください」など書いた手作りカードを運転手に手渡しました。乗車体験も行われ、「近くで見ると大きい。運転席が高かった」と園児らは大喜びしていました。